

福井県大野市方言の待遇表現

天野 義廣

I. はじめに

- (1) 調査対象地：大野市は福井県の東部に位置し、面積は福井県全体の約8分の1に当たる約541km²である。大野盆地の中心に市街地、その郊外に農村部があり、周辺が山地となっている。人口は、平成9年3月1日現在41,357。産業は商業、繊維業、弱電製品、稲作、酪農、林業など多彩で、特に大野の里芋は全国的に有名。市街地は城下町で碁盤の目のようになっており、奥越の小京都とも呼ばれる。朝市や再建された越前大野城、涌水の御清水^{おひょうず}などを来訪する観光客が多い。
- (2) 調査年月日：1997年3月12日。
- (3) 教示者：坂田玉子氏。大正11年生まれ（75歳）。大野市の市街地生え抜きの方で郷土史研究者。
- (4) 調査者・調査場所：教示者の書齋で天野が面接によって実施した。
- (5) 調査方法：当該調査表による質問調査。
- (6) その他：①回答はカタカナで表記し、ガ行鼻濁音は「ガ・ギ・グ・ゲ・ゴ」で表記した。②アクセントは高音部に棒線を施して示した。③教示者による説明を（ ）、天野の説明をく）で囲んで示した。④文表現例（連文も含む）には文頭に○を付し、藤原与一先生の文法学における話部観に準拠して分かち書きを行った。⑤回答は原則として文表現として取り上げ、設問が特定の話部を求めている場合には、その部分を【 】で囲んで示した。⑥所定の「待遇表現調査表」に即して、質問意図の説明に努めながら教示を得た。直訳的な回答が得られず意識的な回答が得られた場合も、当地での言い方、現場での自然な表現として、必要に応じて以下に掲げた。その場合、直訳的な言い方をしないかどうかを確認した。⑦教示者の回答通りに表記することに努めたが、挿入的な表現等で文頭または文中の一部を省略したことがある。その場合、「前略」「中略」で示した。⑧回答の一部に天野の内省によって補った部分がある。その部分を{ }で囲んで示した。⑨教示者の複数の回答をまとめて一つの文表現にした場合がある。その場合、文表現全体を[]で囲んで示した。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は／元気かね ○ 【アンク】 【ゲンキ カー】。
B あなたは／元気かね ○ 【ヒサ^チヤン 【オカトゴイス カフー】】。

- C あなたは／元気かね ○ オヒサシブリデス ネー。【オカトゴイス カエノ
ー】。(B、Cではふつう「あなた」に類する言い方はせず、「○○さん」のよ
うに名前を言う)
- (2) A あしたは家に居るか ○ アンク 【アシタ ウチニ イル カー】。
B あしたは家に居るか ○ 前略 【アシタ イエネ イナハル カエノー】。
C あしたは家に居られますか ○ 【アシタ】 チョットオネガイシタイコト
アルデスケレドモー 【オウチニ イラッシャイマスデショー カ】。
- (3) A あした行くか ○ 前略 【アシタ イク カー】。
B あした行きますか ○ 【アシタ 中略 イキナハル カイノ】。
C あした行きますか ○ 【アシタ イキネンス カ】。
- (4) A 温泉に行かないか ○ ミンナトイッショニ 【オンセン イカン カ】。
B 温泉に行かれませんか ○ コンド ミンナデ 【オンセン】 イコーチェン
ニヤケド 下ヤロ 【イキナハラン カイノ】。
C 温泉に行かれませんか ○ 【アシタ ミーンナデ 【オンセン】 イコーチ
ェンニヤケド 下ヤロ オクサンモ 【イキネヘン カエノ】】。
- (5) A しますか ○ アシタ チョット オタズネショート オモウンニヤケド ナ
ンカ オシゴト 【シナハル カイノー】。
B されますか ○ アシタ オイソガシゴイスヤロケド ナンカ トクベツナゴ
ヨーガ ゴイス カイノ。
- (6) A 見ましたか ○ キノーノバーン コーモンサン オモシロカクタンニヤケド
【ミナハッタ ケーノ】。
B 見ましたか ○ キノーノバンノミトコーモン 【ゴランナンナハッタ カエ
ノー】。○ 【ゴエンサン ミトコーモン 【ゴランナンネシク カエノ】】
。〈ゴエンサンは住職のこと。教示者や周囲の人にとって日常接する人の中で特
別尊敬されるのはゴエンサンかオシャハン(医師)であるという。〉
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか
○ 【キンノノバーン ナンジゴロニ ネナハッタ エノ】。
B ゆうべは何時に寝ましたか ○ 【ユンベ ナンジネ ネネンシタ エノ】。
(「寝なされた」をネネシタとも言う。家の者や目下の者には次のように言う。
○ 【ユーベ ナンジネ ネットンニエ ノ。】)
C そのベッドに寝てください ○ 【ソノベットニ ネットンネヘン ノ】。
○ 前略 ソコエ スコシ ヨコンナンネヘー ノ。〈横におなりなさいよ。〉
(横たわるのでなく就寝することについては「お休みなさい」の意で次のように
「ネネンシエ」と言う。○ テレビバッカ ミテント オバーチャン モー
エーカゲンネ ネネンシエ ヤ。モー オソゴイツ サー。)

- (8) A どこに行っているか ○ アラ。アンタ 【ドコイキナハンニエ ノ】。
○ アラ。キョーワ 中略 エーカッコシテ 【ドコ イク ノ】。
- B どこに行っていますか ○ チョットオネガイシタイコト アンニヤケド イマカラ 【ドッカ イキネース カ】。○ 【ドコ イキナハル カ】。(コレデワ ドーモ ケーサツノダンナハンミタイ。笑い) ○ イマカラ 【ドコ エ イキネンスンニエ ノ】。
- C どこに行っていますか ○ キョーワ エマカラ ショーバヤシノホーエ オイネス カ。[ある住職が年忌法要に近くの庄林という集落へ赴くと想定しての表現] ○ キョーワ アカッサン イキネンス カ。[アカッサンは明石さんの意] ↔ ○ ホヤー。イマカラ チョット イッテクル ワノ。
○ アサ ハヨカラ 【ドッカ イキネース カ】。ゴクロサンデス ノー。
- (9) A どうぞ食べてくれ ○ コレ チョット フキントーノオアエ ックッテミタニヤケド チョコシ 【タベトツケ ヤ】。○ 前略 チョット 【タベテミテ ヤ】。
- B どうぞ食べてください
○ { チョット フキントーノオアエオ } オクチニアワンヤロケド イッペン 【タベテミトクンネヘン】。○ 前略 【オアガナシトクンネヘンノ】。ンモネーカモ ワカレヘン ザー。○ ミンナ ハヨハヨ ホンナトコニスワッテント オジェニスワッテ 【オアガナシトクンネヘン ヤ】。
- C どうぞ食べてください ○ 【ドーカ アガナシトクンネヘン】。オクチニワ アエヘンヤロケド。
- (10) A その写真を私に見せてくれないか
○ アラ。【{ソノシャシン} ワタシニ ミシトツケ ヤ】。
- B その写真を私に見せてくださいますか
○ エレーワルゴイスケド 【ソノシャシン チョット ミシトクンネヘン ノ】。
- C その写真を私に見せてくださいますか ○ ゴエンサン 【ソノシャシン チョット ワタシニ ミシトクンネヘン ノ】。

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう ○ アー。ヤマダハントコ イクン カー。【アシタワ キット ウチニ イル ワイノ】。
- B あしたは家に居るだろう ○ 【アシタワ キット ウチニ イナハル ワイノ】。
- C あしたは家におられるでしょう ○ 【アシタワ キット ウチニ イナハルトワ オモウケド ノ】。○ 【{アシタワ} ウチニ イナハルト オモヘスケド ノー】。

- (12) A 居なかった ○ 【イマー ヤマダハントコ イッタケド 【エナンダ ワ】
。】 ○ 【エナンダ ワノ】。
- B 居なかった ○ 【エナハラナンダ ワ】。
- C 居なかった ○ イッタケド 【イネヘナンダ ワ】。
- (13) A そう言った ○ イマー ソコー イッテキタケド ソレワ イカレンテ
【ユーテナハッタ ザ】。 ○ 【ユッテナハッタ ザ】。
- B そう言った ○ イマー オボーサンニー オツクエワシテケーシタケド
オボーサンワー ソラー イカレンテ 【ユーナハッタ ザ】。
- (14) A 今そこに行っていた ○ 【ハナチャンナラ ゴエンサントコエ 【イマ チョ
ード イッテナハッタ ザ】。】 アコ イクト アエル ワノ。
- B 今そこに行っておられた ○ イマー カイチョーサン サガイテナハルンナ
ラー イマー ゴエンサントコエ チョード 【イッテナハッタ ザ】。 ○
【イッテネシタ ザ】。
- C 今そこに行っておられた ○ 【ゼンドッサンノゴエンサンナラー イマー
チョード オトナリノオテラエ 【イッテナハッタ ザ】】。〈ゼンドッサンノ
ゴエンサンナラーは「善導寺の住職さんなら」の意。〉
- (15) A 友達が来ている ○ アー ヨッシャン。【フッチャンガ イマ ウチ キテ
ルザ】。アンタモ コン カ。〈電話でヨシコさんに伝えるときの言い方。フッ
チャンも人名〉 ○ ア ヨッシャン。ウチ ホラ フッチャン キテンニヤデ
アンタモ イッシュヨニ オイデ ヤ。〈道で伝える場合〉
- B 来ている ○ ソノオクサンナラ ウチネ 【キテネーッ サー】。オインネ
ヘー ヤ。(いっしょにいらっしゃいませんかの意)。
- C 来ている ○ ソノヒトナラ チョード ウチネ 【キテネースデ】 ソーユ
ーテ ツタエトキマショー カ。○ ソー ユートケーホー カ。
- (16) A 仕事をしている ○ イマー ソノオクサンナラー オテラハンノガイドコデ
イッシュョケンメ テツドーテナハッタ ワノー。
- B 仕事をしている ○ イマー センセ カンジャハンオミテナハルサイチュー
ヤ ワノー。
- (17) A 見せてもらった ○ イマ コレ オモッシェホン ミシテモロテキタ ザ。
○ 前略 ミシテモロタケド オモシエカッタデ カリテキタ ザ。
- B 見せてもらった ○ 前略 ミセテモロテキタ ザ。
- C 見せてもらった ○ イマ ゴエンサンネ コノアリガターイホン ミセテモ
ロテキタトコヤ。
- (18) A 見せてくれた ○ イマー アコノウチデ オモシエーホン 【ミセテクレタ
】 ザ。 ○ ミシエテモロテキタ。

- B 見せてくれた ○ ミシエテモロク。
- C 見せてくれた ○ 【ミシトクンネシタ】。 ○ 【ミシテオクンネシタ】。
- (19) A 私にくださった ○ {オクサンガ コレ 【ワタシニ チョーダツタ】。} (チョーダツは昔の身分関係の意識の伴う言い方。例えば雇用主がその家に働いている人に与えるような場合の言い方) ○ オクサンガ コノマエカケ チョーダツタデー イツーモ シメテルンニャー。 ○ コノマエカケ モロテキタデ コノガラ スキヤデ イツーモ シメテンニャ。(友達どうしで会話する場合の言い方) ○ コレ アコノオクサンニ イタダイテキタンデ ノー。
- B 私にくださった ○ キョー シチョーサンガ コレー モツテキトクンネシテ ノー。コーンナエーモン モロテ アリガタイコツチャ。(市長の高齢者への慰問の場合) ○ シチョーサンガ オクンネシテ。(下さって)
- (20) A いただいた ○ ヨー オチョーダイシエーシクター。(飲食の接待を受けた後の挨拶) ○ ホンナラ チョーダイシテケースー。
- B いただいた ○ コノハナ ワザワザ ゴエンサンガ キツテオクンネシタデ ノー。イーマ ヨロコンデ モツテカエルンデスー。

2 謙譲表現

2-1 謙譲表現

- (21) A 私も ○ 【ワテモ】 カテー ザ。 ○ エマントコ ワテラ マダ カトテ エー ワー。アンタモ カトテ エー ノー。(ワテは女性の自称代名詞。ワテラは単数、複数ともに示す。文例中のカテー、カトの基本形は形容詞で「健康だ」の意のカタイ)
- B 私も ○ 【ワタシモ】 カトゴイスデ ノー。オカゲサンデ。
- C 私も ○ オカゲサンデ 【ワタシモ】 カトテ オイテモラエスンデ。(オイテモラエスンデは、「この世に置いていただけますので」の意)
- (22) A 十分に食べました ○ ヨー オチョーダイシエーシクター コンデ モーカエラシテモラエヒョー ワイノ。(オチョーダイシエーシタはお酒の時によく言う。) ○ 【ヨー アガラシテモラエシタ】。
- B 十分に食べました ○ [ヨー ヨバレンシテ アリガトゴイシター。ホンナラ モーカエラシテモラエースデ ノー。]
- (23) A 持ちましょう ○ アー。ソレ 【モツゲンショ】 ワイノ。(モツゲンショは、「持ってあげましょう」の意)
- B 持ちましょう ○ オニモツ モツテケヒョー カノー。(モツテケヒョーは「持って行きましょう」の意)
- (24) A 待たせたね ○ アラー。【マクシタ ノー】。ゴメン ノー。
- B お待たせしました ○ オマクセセーシテ カンネシトクンネヘン ノー。

- ア。マッテトクネシテ カンネシトクレ フ。〈「ああ、待っていて下さいまして、ごめんなさいねえ」の意〉 ○ オマタセシェーシテ カンネシトクネヘン フ。 ○ マッテトクネシテ アリガトゴイシタ フ。
- C お待たせしました ○ アラ。ゴエンサンデシタ カ。オマタセシテ カンネシトクネヘン フ。
- (25) A 駅で待っているよ ○ ホンナラ 【エキデ マッテル ワ】。
- B 駅で待っていますよ ○ ホンナ 【エキデ マッテマス ワノ】。
- C 駅で待っていますよ ○ 【ホンナラ ゴエンサン エキデ マッテマスデー ドーカ ヒチジマデニ オインナシトクネヘン フ。】 〈オインナシトクネヘンは、「おいでになって下さい」の意〉
- (26) A 言ってくれ ○ ホンナラ モースグ カエルデッテ 【ユエテテ】。
- B 言ってくれ ○ オネガイスルノ ワルゴイスケド モースグ カエルッテ ウチノニ チョット 【ユエトクネヘン ノ】。
- ホンナラ モースグ カエルッテ ワリケド ウチノニ チョット ソー 【ユートイトクネヘン フ】。
- C 言ってくれ ○ ゴエンサン モーシワケゴヘンケド チョーット ウチノ ネ モースグカエルッテ ユエモラエヘンヤロ カ。 ドーカ オネガイシェー ス。
- (27) A これをやろう (コレ イチバン ムツカシーンニヤ ネ。 モノ ヤローチ ューノワ ネ。 アイテガ ホラ ナンジャ コンナモンダライクレルカートカ ナンヤトカデ、ナメテルナ コレッチュー カンジデー。) ○ アンタ コレ モロトッケル カ。(他人に物を「あげる」というのは自分の不要な物を相手に与えると受け取られて失礼になるおそれがあり、気を遣う。それで次のように言葉をつけ足して言う。) ○ 【ワタシ コレ アンタニアゲヨートモテ フタツ コーテキテンケド ドーヤ モロトクレル カ。】 (ヨッポド イツモカーモ アイテガ ホシガッテルモンナラ ヤッパ アゲルワノ オトマシケド チューカンジナラ イーケド。 ナンカ コー ムツカシーモンデス ヨ。 ヒトノマジワリ、オンナド シノマジワリリッチューノワ トクニ。)
- B これをあげましょう ○ 【コレ モロテモラエンヤロ カ。】 ○ コレ コーヤサン イッテ コーテケーシタケド エーオミヤゲデネーカワリーカ ワカランケド モロトクネヘン ノ。
- C これをあげましょう ○ コレ サシアゲヨートモテ モッテケーシテンケド ドーデッサロー。 モロトクネン カー。

2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった ○ [コナイダ マゴニ ヨーフク カワイラシーノアッタデ
 コーテヤックラ ヨロコング ワノー。]
- B 買ってやった ○ エマー チョット デクラー リョーコニワ メッポカワ
 イラシーノ アッタデー エマー イチマイ コーテケーシタンニヤケドー ド
 ーデッシャロー。
- C 買ってやった ○ [コナイダー アノー ウチノマゴニー ヒトツ オモチ
 ヤノアトラシーノアッタデ コーテキテヤックラー メーッポ ヨロコンデクレ
 シテ ノー。] ↔ ○ オバ、ソリヤ ヨカッタ ワネ。
- (29) A 主人はもう帰っている ○ ハイ。キョーワ エライハヨカエッテキテ オリ
 マスンニヤケド。 ○ キョーワ ハヨカエレシテ オリマスケドー。ヨンデケ
 ヒョー カノー。〈呼んでみましょうかねえ〉
- B 主人はもう帰っています ○ ハイ。オレス。オレス。ハイ。ヨンデケーホー
 カノー。〈オレスは「おります」の意。こういう場合、相手の求めに速く応じよ
 うとする気持ちを言葉に出すのが大切〉

3 丁寧表現

- (30) A 行くよ ○ アシタ カー。ホリヤ 【イク】。【イクー】。
 B 行きます ○ ハイ。ツレテッテモラエスー。オネガイシェースー。
- (31) A 寒いね ○ アンタ キョーワ サブイ ナー。モーイチマイモ キナ アカ
 ンワー。コリヤー。
 B 今日寒いね ○ ゴエンサン オサムゴイス ノー。カジェ ヒキナハラン
 ヨーネ シトクンネヘン。〈お寺の住職とすれ違った場合を想定しての回答〉
 C 今日寒いですね ○ 【キョーア オサムゴイス ノー】。
- (32) A 居るよ ○ アー。【イル】。【イル】。オイデ ヤ。
 B 居ます ○ ハイ。【オリマス】。【オリマス】。ナンカ ゴヨーデッシャロ
 カ。
- (33) A よかったねえ ○ [【ヨカッタ ノー】。カエレテー。ホヤケド アトガ ダ
 イジヤ ザ。キーツケトツケ ヤー。]
 B よかったですねえ ○ [アラー。オカエンネシタン カー。ヨーカックデス
 ネー。ミンナ シンバイシテヘーシタンヤ ザー。] ○ カエンナハッテ
 ヨカッタ ノー。アト ダイジネ シトクンネヘン ノー。
 C よかったですねえ ○ [アラー。カエンネヘーシタン ケーノ。【{ホリヤ
 ヨーゴイシタ ノー}。} ホヤケド アト ゴムリシェントイトクンネヘン
 ヤ。]
- (34) A そうか ○ {アー。【ホー カ】。}

B そうですか ○ [ハー。ソーデゴイス カー。]

C そうですか ○ ハー。ソーデス カイノ。

4 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がって右へ行くと～ ○ [【ソノカド ミギエマガッテモラウトー】
エカーイナクスリヤガ ゴイスデ ソッカラ サン ンメデス ワノ。
- (36) とんでもない ○ 【ホンナ アホ ナー】。ワタシャ ホンナコト シレヘン
ザー。〈シレヘンは、「知りません」の意〉

4-2 多人数場面の待遇表現

- (37) ○ [マー ウチ ツゴーワリーノワ イママデ ヨー セツメーシタハズヤケド
ソンドモシェーチューナハルンナラ サシテモラエスケド イキトドカントコワ
カンネシトクンネヘン。ミンナデ タスケトクンネヘン ノー。] ○ イママ
デ イロイロト ワケワユエシタヨーニー アノー イロイロノワケアッテ マ
ニアワントワ オモエスケドー ドーデモチューナハルンナラ ミンナニタスケ
テモロテ ヤレンショー カノー。
- (38) ○ コンドノリョコワ チョーナイデ ナカヨー ドッカイコーチューンニャデ
ー ニンズースクナイト ナンニモナランデー ミーンナイッショニ イケヒョ
ヤ。ヤッパ ヒトリデモカケルト ソノトキノハナシ ツージン ワネー。ホリ
ヤー キンジョノコッチャデ ソレゾレノオタクノジジョーワ ヨー ワカッテ
ッデ ゴムリワ モーセヘンケドー。

4-3 位相による待遇表現

- (39) 1. お寺の住職さん A ○ ゴエンサン エレ ハヨゴイス ノー。
お寺の住職さん B ○ キョーワ コンネアサハヨカラ ダレカ アノ ワ
リコトデモ ゴイシタン ケノ。(これは一例。状況によって言葉のかけ方が違
う。声をかけると先方も「エン。ナニナニデ イマ チョット ドコソコノオバ
バントコ イカンナンノデ ノー。」のように返事があり、するとまたこちらも
「ソリヤ ゴクロサンデス ノー。キーツケテ イッテキトクンネヘン。」のよ
うにつけたして言う)
2. 校長先生 A・B ○ アーラ コーチョーセンセー。イマゴロ ドゴ イキ
ネンスンニエ ノ。(そして向こうが何か言うと、次のように続ける) ○ ア
ーラ ホラ タイヘンデスー。セキニンシャワ タイヘンデゴイス ノー。 ○
アラー アサハヨカラ コーチョーサン タイヘンデス ノー。キーツケテ イ
ッテキトクンネヘン。(最近校長は自動車を使うし、朝9時頃には近くを通ら
ないので、声をかける機会がめったにない。)

3. 見知らぬ年配の男性 A (見知らぬ人にはふつう声をかけない。しても会積程度。その人がよろよろと歩いているような場合には、次のように言う。) ○ コノミチワ クルマ オーゴイスデ キーツケトクンネヘン。
- 見知らぬ年配の男性 B (その人が高齢者で行方が気になるような場合、次のように言葉をかける) ○ ドコエ イキネンスンニェ ノ。〈相手の答次第では、次のように言う〉 ○ ソコナラ {チカイデ} イッショニ イツタゲ ッ サー。 ○ チズデモ カイタゲホー カ。
4. 見知らぬ年配の女性 A・B ○ 〈上記3と同様。相手がうろうろしているようなら、次のように言う〉 ○ ドッカ サガイテネンスン カノー。チカケリヤ ツレテツタゲ ッ サー。
5. 顔見知りの男性 A ○ オゲンキデス カイノー。 ○ カトテ ヨーゴイス ノー。 ○ キョーア エーテンキデス ノー。キノーマデ フツタケド ヤーッパ テンキア アリガタイ ノー。
- 顔見知りの男性 B ○ ダレダレサン ドコ イキナハンニェ ノ。カミカ。シモ カ。
6. 顔見知りの年上の女性 A・B 〈上記5と同様。挙動不審の高齢者には、次のようにみんなで声をかけて確認することが多い。〉 ○ アラー。ドコ イキナハルンデス イノー。 (久しぶりの対面の場合は、次のように言う) ○ チガイコト アワンダ ノー。
7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 A・B (しても会積程度。なお自分より10歳年下、すなわち60歳ぐらいの人の中に心身の状態の不調の人があり、雰囲気ですれが分かる。そのような場合、「オテラマイリデ ゴイス カ。」とか「オテラハン イキネンスン カー。」のように声をかけることがある。その反応で実情が分かる。そう尋ねて腹を立てる人はいない。) 〈教示者の近隣に寺院の多い寺町がある。〉
8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 A・B 〈上記7と同様〉
9. 同級生の男性 A (教示者は女子校出身なので、同級生の男性がいない。市街地に住む知り合いの人に会ったような場合には次のように言う) ○ アラー ヒサシブリヤ ノー。オカトゴイス カー。
- 同級生の男性 B (よく会う男性には例えば次のように言う。) ○ マー タ キョーテー カー。〈キョーテーは競艇のこと〉 ○ アラ コンナハヨカラ パチンコ カ。(なじみの人にはこのように言うが、一般にあまり行先についての詮索はしない。いつもと違って背広を着ていたりすると、次のように聞く。) ○ キョーワ シャーントシテ ナンカ アレンスン ケノ。〈なおスーパーや量販店では近所の人や顔見知りの人によく会う。挨拶を交わすこともあるし、会

積だけ交わすこともある。)

10. 同級生の女性 A・B ○アラ。アンタ ドコイク ノ。(身なりが改まっているときは次のようにも聞く) ○ エライ キョーワ ダテコイテイル ノー。(ダテコクは「めかす」「おしゃれする」の意)(それに対して「ホンナコト ネーンニャ。シムルイノホンコサンデ ノー。(ホンコサンは報恩講のこと。浄土真宗の法会の一様)のような返事があれば、つぎのように言う) ○ ホーカ。ホリヤ タイヘンヤ ノ。
11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性 A ○ ヒサシブリヤ ノー。
10歳ほど年下の顔見知りの男性 B ○ キョーワ ドッカ イキネンスンカー。(別に知りたいわけではない。挨拶言葉としてこのように声をかける。相手も「チョットー。」ぐらいしか言わず、そこですーっと別れる。)
12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性 A・B ○ アラ。コンニチワー。ヒサシブリニ オータ ノー。キョーワ ドコイクンニェ ノ。(相手も無言では通り過ぎない。例えば次のように答える。「イヤ。チョット ソコエイクンデ ノー。」)
13. 近所の中学生の男の子 A・B (午前9時頃なら平日は学校の授業が始まっているので、次のように言うことがある。) ○ アンタ ナンヤノ ガッコ イカンノカ。 ○ アンタ テキネン カ。(テキネーは「健康が優れない」の意)
14. 近所の中学生の女の子 A・B (上記13と同様)

III 総括(まとめ)

待遇意識を表す、当地での主要な文末形式(文末詞を除く)には以下のものがある。

尊敬表現では「行きナハル」のように「ナハル」が一般的に用いられる。ただし幼少層はこの「ナハル」をはじめ、敬語をあまり口にしない。少し改まって「ナサル」も言う。「行きネンス」「行きネース」「行きネス」は中年層以上の女性が言う。「～して下さる」の意で「行つクレル」という。他に「イラッシャル」「オイデル(おいでになる)」も言う。打ち消して「行きネヘン」「知れヘン」のような形式もある。

謙讓表現は多く共通語形による。「行かシテイタダク」のような形式はよく使う。

丁寧表現は「～デス」「～マス」をよく言うが、「ゴイス(ごございます)」「行けス」のように言うことも多い。その他耳立つ言い方に「ゴヘン(ごさいません)」、「行けホー(行きましょう)」がある。「行きなさい」と促すのに「行きネヘン」「行きネヘ」「行きネン」がある。

(あまのよしひろ 仁愛女子短期大学)